

一般入試前期B日程

数 学

I 【数学①・数学②，どちらも解答】

次の空所を埋めよ。(配点 40)

(1) $a > 0$ とする。3次方程式 $ax^3 + 12x^2 + (a^2 - 18)x - 54 = 0$ が $x = 2$ を解にもつとする。

このとき、 $a =$ であり、 $x = 2$ 以外の解は、 $x =$ である。

(2) 正の実数 r が $4^r = 5$ を満たすとする。

このとき、 $\frac{2^r + 2^{-r}}{2^r - 2^{-r}} =$ であり、 $\frac{r}{\log_3 25} =$ である。

(3) 1個のさいころを3回続けて投げて、出た目の数を順に a, b, c とする。

a, b, c がこの順で公比が1でない等比数列となる場合は 通りあり、

a, b, c がこの順で公差が0でない等差数列となる場合は 通りある。

(4) 2つの変数 x, y の値の組 $(2, 6), (0, 2), (4, -2), (2, 2)$ について、

x の分散は であり、 x, y の相関係数は である。

Ⅱ 【数学①・数学②，どちらも解答】

次の空所を埋めよ。(配点 30)

- (1) $\triangle ABC$ の 3 辺 BC, CA, AB の長さをそれぞれ a, b, c とする。

次の内積の値をそれぞれ a, b, c を用いて表すと，

$$\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} = \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2}, \quad \overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC} = \frac{\boxed{\text{ア}}}{2}, \quad \overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{CB} = \frac{\boxed{\text{イ}}}{2} \text{ である。}$$

また， $\frac{\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}}{2} = \frac{\overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC}}{3} = \overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{CB}$ であるとき，

$$a : b : c = 2 : \boxed{\text{ウ}} : \boxed{\text{エ}} \text{ である。}$$

- (2) 方程式 $\sin^2 x + \cos x + a = 0$ が実数解をもつような定数 a の値の範囲は，

$$\boxed{\text{オ}} \leq a \leq \boxed{\text{カ}} \text{ である。また，} a = \boxed{\text{カ}} \text{ のとき，この方程式は}$$

$0 \leq x < 2\pi$ の範囲において実数解 $x = \boxed{\text{キ}}$ をもつ。

Ⅲ

【数学 ① のみ解答】

関数 $f(x) = e^{5x}$ について、曲線 $y = f(x)$ 上の点 $(a, f(a))$ における接線を l とする。

このとき、次の問いに答えよ。ただし、 a は実数とする。(配点 40)

- (1) l の方程式を求めよ。
- (2) l が原点を通るときの a の値を求めよ。
- (3) l の y 切片が正であるとき、接線 l , x 軸および y 軸で囲まれる三角形の面積 $S(a)$ を求めよ。
- (4) l の y 切片が正であるとき、(3) で求めた $S(a)$ の最大値を求めよ。

IV

【数学 ① のみ解答】

2つの関数 $f(x) = \sqrt{2x+1}$, $g(x) = \frac{1}{x\sqrt{2x+1}}$ について, 関数 $y = f(x)$ のグラフと

関数 $y = g(x)$ のグラフの交点を $(a, f(a))$ とする。このとき, 次の問いに答えよ。(配点 40)

(1) a の値を求めよ。

(2) 不定積分 $\int f(x) dx$ を求めよ。

(3) 曲線 $y = f(x)$, 直線 $x = a$ および x 軸で囲まれる図形の面積 S を求めよ。

(4) $\sqrt{2x+1} = t$ とおき置換積分法を用いて, 定積分 $\int_a^{a+1} g(x) dx$ の値を求めよ。

V

【数学②のみ解答】

次の空所を埋めよ。(配点 40)

- (1) 箱の中に 1 から 3 までの自然数がひとつずつ書かれている 3 枚のカードが入っている。
この中からカードを 1 枚取り出して、書かれた数字を確認してから箱に戻す。
この試行を n 回くりかえすとき、確認した n 個の数の和が偶数である確率を p_n とする。
このとき、 $p_1 = \boxed{\text{ア}}$ 、 $p_2 = \boxed{\text{イ}}$ である。
また、 p_{n+1} を p_n を用いて表すと、 $p_{n+1} = \boxed{\text{ウ}} p_n + \boxed{\text{エ}} (1 - p_n)$ ($n = 1, 2, 3, \dots$)
である。よって、 $\{p_n\}$ の一般項は $p_n = \frac{1}{2} \left(1 + \boxed{\text{オ}} \right)$ である。
- (2) xy 平面上の円 $C : x^2 + y^2 - 6x - 2y + 2 = 0$ の半径 r は、 $r = \boxed{\text{カ}}$ である。
 $k > 0$ とする。直線 $y = kx$ が円 C と接するときの k の値は、 $k = \boxed{\text{キ}}$ である。
これより、点 (x, y) が円 C 上を動くとき、 $\frac{x^2 + xy + y^2}{x^2}$ の最大値は $\boxed{\text{ク}}$ である。

VI 【数学 ② のみ解答】

$k > 1$ とする。関数 $f(x) = |x^2 - 1| - k$ について、次の問いに答えよ。(配点 40)

- (1) 方程式 $f(x) = 0$ の実数解を求めよ。
- (2) 定積分 $\int_0^1 f(x) dx$ の値を求めよ。
- (3) $g(k) = \int_0^k f(x) dx$ を計算せよ。
- (4) $g(k)$ が最小となるような k の値を求めよ。